

ごあいさつ



皆さまには、平素より格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も結城信用金庫の経営方針や事業内容、活動実績、業績推移などをとりまとめましたディスクロージャー誌『ユーシンレポート 2021』を作成いたしました。

本誌を通じて当金庫に対する一層のご理解をいただければ幸いに存じます。

さて、2020年度の国内経済は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、国や地方自治体による各種の自粛要請が実施されるなど、社会・経済活動が大幅に制限されました。

現在もなお、総じて厳しい状態が続いておりますが、2021年度はワクチン接種効果により感染症の影響が収束に向かい、経済情勢は徐々に持ち直しを見せるものと期待されております。

こうしたなか、当金庫は地域金融機関として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業や自営業者の皆さまへの支援策に取り組んでまいります。

2021年度は当金庫の中期計画である“ユーシン「支援力の強化と変革への挑戦」2021”3か年計画の初年度となります。新たな3か年計画では、取り巻く環境の変化を捉え、今後3年間における地域と地域のお客様への支援、そして、当金庫自体が変革を成し遂げるために挑み続けることをタイトルに掲げました。当金庫は3か年計画で取り組むべき課題に全役員で取り組み、地域社会の繁栄、そして当金庫の安定的な経営基盤の構築に向けて邁進いたします。

当金庫は、令和4年5月26日に創立120年を迎えます。創業以来引き継いできた「地域とともに歩む」という経営理念を変えることなく、これからも地域の皆さまとともに歩んでまいります。

変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

理事長 石塚 清博